

2023年度

ゼロエミッションラボ沖縄

総 会

日時:2023年度 5月20日(土)10時~12時

会場:宜野湾市立グラウンド会議室

式次第

1. 開会のことば
2. 共同代表あいさつ
3. 議長選出
4. 議事

議案第1号 2022年度会計報告

議案第2号 会則改訂案

議案第3号 2023年度役員変更案

議案第4号 2023年度活動計画

議案第5号 2023年度予算案

5. 新役員あいさつ
6. 閉会ことば



2022年度ZELO会計報告

自 2022年 4月 1日 ~ 至 2023年 3月 31日

【収入の部】

(単位:円)

科目	金額	摘要
前年度繰越金	135,777	
会費	24,000	2,000×12名
寄付	17,000	個人2名、企業1団体
事業収入	91,680	クラブヴォーバン沖縄視察の企画運営(6月)
同上	20,000	琉球新報社 おきなわSDGsプロジェクト イベント協力(8月)
同上	110,000	沖縄県地球温暖化防止活動推進センターとの共催オンラインセミナー 企画運営(9月、11月)
合計	398,457	

2022年度 単年度収入:262,680円

【支出の部】

(単位:円)

科目	金額	摘要
交通費	38,070	事務局ミーティングの交通費(7名)
通信費	25,142	ウェブサイトサーバ代8,000円、Zoomアカウント代17,142円
接待交際費	15,259	クラブヴォーバン歓迎会、会議用飲み物代
保険料	2,340	1/6 ビーチクリーン保険料
消耗品費	220	文具
会議費	7,170	クラブヴォーバンセミナー会議室代、事務局ミーティング会議室代
謝金	25,000	クラブヴォーバン視察案内謝金(5,000×5名)
雑費	940	振込み手数料
合計	114,141	

【収支計算】

(単位:円)

収入合計	398,457
支出合計	114,141
差引残高	284,316

2023年 5月 9日

会計 石塚 詩穂

2022年度収支決算を監査した結果、適正かつ正確に処理されている事を認めます。

2023年 5月 19日

会計監査 ロビンソン サイモン

ゼロエミッションラボ沖縄 会則

(名称)

第1条 本会は「ゼロエミッションラボ沖縄」と称する。

(事務所)

第2条 本会の事務所は、沖縄県内における共同代表 顧問 ※1 または事務局長いずれかの住所地に置く。

※1 2023年度より共同代表を廃止→元共同代表の鹿谷が顧問に就任

(目的)

第3条 本会は、気候変動をもたらす地球温暖化を緩和するために、2050年までに温室効果ガス排出量が実質ゼロとなる社会を目指し、沖縄から持続可能な社会の形やしぐみを提案し実現していくことを目的とする。

2 本会は、2030年まで本目的のもとに活動を継続するものとする。

(活動・事業)

第4条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 温暖化対策プラットフォームの運営事務に関すること。
- (2) 温暖化対策と持続可能な社会を推進するための事業。
- (3) その他、前条の目的を達成するために本会が必要と認めたこと。

(会員)

第5条 本会の会員は、この会の目的に賛同した者とする。会員は、自主的に本会の活動に参加または関与し、本会の活動の活性化に貢献することが求められる。

(入会・退会)

第6条 本会に入会しようとする者は、共同代表(2名)及び事務局長 ※2 の承認を得るものとする。また会員は、会の申し出により、任意に退会できる。

※2 共同代表を廃止したため、事務局長の承認とする

(役員)

第7条 本会の事務局内には、次の役員を置く。

- (1) 共同代表 顧問 1名
- (2) 事務局長 1名
- (3) 会計監査 1名
- (4) 理事 5名以内

2 事務局は顧問・事務局長・会計監査・理事で構成し、本会の業務に関する意思決定を行う。 ※3

3 役員は、総会において会員の互選により選出する。ただし会計監査は他役員との兼任はできない。

4 役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

5 役員本人または会員の申し出により、任期内において役員の退任・交代をすることができる。その場合は総会においてこれを承認する 臨時措置として事務局において新役員を選任し業務にあたらせると共に、次の総会において新役員の承認を行う。※4

※3 事務局では密に連携をとりながら業務内容を検討していく

※4 業務に差し支えが生じるため臨時の新役員は事務局で任命し、即時業務を担えるようにする。

(役員の職務)

第8条 役員の職務は、次の通りとする。

- 1 共同代表(2名) 顧問は、本会を代表し、互いに 他の役員と協力して会務に関する指導・総括を行う。
- 2 事務局長は、共同代表を補佐し、本会の運営事務と会計を担う。
- 3 会計監査は、本会の会計および資産の状況を監査する。
- 4 理事は事務局長に協力し、本会の運営業務を行う。

(資産)

第9条 本会の資産は、次に掲げるもので構成される。

- (1) 事業収入
- (2) 寄付金品
- (3) その他の収入

(総会)

第10条 本会の総会は、年に1回以上開催する。総会は会員の過半数以上の出席を必要とし、議事は出席者の過半数の賛成によって承認される。

- 2 やむを得ない事情で出席できない会員は、委任状又は表決書面を提出することにより、出席者の数に加えるものとする。
- 3 総会では、以下の事項について審議し承認を行う。
 - (1) 事業報告および決算
 - (2) 事業計画および予算
 - (3) 事業の変更
 - (4) 役員の選任および退任
 - (5) 会則の変更
 - (6) その他、本会則に定めのない事項
- 4 総会は、共同代表 顧問もしくは事務局長が必要と認めた時に召集される。
- 5 総会の議長は、会員の互選により選出される。

(事業報告および決算)

第11条 本会は、毎事業年度終了後2ヶ月以内に事業報告書および決算書を作成し、監査を経て総会の承認を得るこ

とする。

(会計年度)

第12条 本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

(解散)

第13条 本会は、次に掲げる事由によって解散する。

(1)総会の承認

(2)活動を行わない期間が3年以上続いたとき

(3)他団体への変更、合併

2 解散に際し、資産の残余がある場合は、総会において適当と認められた団体・個人等に寄付する。団体・個人等については会員の関与の有無は問わない。

(変更)

第14条 本会則の変更は、総会において出席者の過半数の賛成を必要とする。

附則

この会則は、2020年12月15日から施行する。

【2023年度の役員体制について】

■旧役員(2022年度まで)

共同代表 鹿谷 麻夕 神谷 美由希

事務局長 杉山 早苗(2023年1月で退任)

会計監査 石塚 詩穂

運営メンバー(実働)

賀数 邦彦

まつだ かなこ

ロビンソン サイモン



■新役員(2023年度から)

顧問 鹿谷 麻夕

事務局長 石塚 詩穂

会計監査 ロビンソン サイモン

理事 賀数 邦彦

神谷 美由希

【2023年度活動計画】

- 沖縄県地球温暖化防止活動推進センター(OKICA)主催、ZELO共催(予定)にて、プレ気候市民会議(仮題)を計画中。

＜目的＞

1. 市民が自ら「脱炭素のまちづくり」について議論し、持続可能な理想の都市計画を描く過程で、脱炭素に対する意識を高め、知識や関心をより深める。
2. 話し合われた内容を「理想の都市計画」や「脱炭素のまちづくりアイデア集」などとしてまとめ、県内自治体に発信することで、自治体の脱炭素に対する意識向上をねらう。

＜内容＞

1. 夏までに実施計画を作り、講師を決め、参加者を募る。
2. 8～12月頃の間で3回のワークショップを行い、4回目に市民による「脱炭素のまちづくり計画」をとりまとめる。
3. 参加募集は県内在住の高校生以上の市民、基本的に4回とも参加できる人。
4. WSでは都度講師を招き、テーマを設けて話題提供し、参加者の知識を深めると共に、講師も議論に参加してもらう。(テーマ:エネルギー、交通、建築、地産地消、まちづくりなど)
5. WSでは、講師の話題提供のあとでグループに分かれ、それぞれ規模や条件の異なる仮想のまちを担当して議論する(都市部、離島など)。
6. 議論に際しては、理想的なアイデアに対して「それはできない」「無理」などと否定せず、どうすればそこに近づけるのかを考える。
7. 仮想のまちづくり計画を取りまとめ、理想の都市計画、あるいは市民発の脱炭素のまちづくりアイデア集のような位置付けで、県内自治体に対して情報発信を行う。

■ZELO会員向け企画

- ・これまでオンラインで行っていた「全体ミーティング」という形を改め、会員同士が直接集まって体験や意見交換できる場として、総会のほかにリアルイベントを2回程度企画したい。

案:ヴィーガン食を体験してみよう!、バイオマス発電所見学ツアー、
自転車でおへ行ってみよう! など

■事務局ミーティング

- ・これまでは都度開催の予定を立てていたが、今年度は毎月第○の○曜日、のように定期開催。
→ 月2回程度? 場合に応じてリアルまたはオンラインで行う。

月	内容
4月	プレ気候市民会議 準備
5月	総会(5/20) プレ気候市民会議 準備
6月	プレ気候市民会議 準備
7月	プレ気候市民会議 参加者募集 開始 ZELO 会員向け イベント
8月	プレ気候市民会議 第1回

9月	プレ気候市民会議 第2回
10月	プレ気候市民会議 第3回
11月	プレ気候市民会議 第4回
12月	プレ気候市民会議 報告書作成
1月	プレ気候市民会議 報告書作成
2月	ZELO 会員向け イベント
3月	

議案第5号

【2023年度予算案】

【収入】

科目	金額	摘要
前年度繰越金	285,056	
プレ気候市民会議	650,000	OKIKAからの委託費(5月末に決定予定)
寄付	30,000	
収入合計	965,056	

【支出】

科目	金額	摘要
事務局費	120,000	事務手数料: 1ヶ月¥10,000
企画運営にかかる人件費	498,000	プレ気候市民会議: 総合ファシリテーション30,000×4回、グループファシリテーション8,000×4名×4回、フライヤーデザイン30,000、資料作成30,000×4回、報告書作成100,000
交通費	60,000	事務局6名 交通費、高速代
通信費	27,200	ウェブサイトサーバ代、Zoomアカウント代
保険料	10,000	イベント保険、飲料等
消耗品費	3,000	封筒、模造紙、
会議費	10,200	会場費 200×3h×7回、空調費 1,000×3h×2回
雑費	10,000	振込手数料・印刷、郵送費等
支出合計	738,400	

【差引残高】 収入 965,056 - 支出 738,400 = 226,656